



## 2025年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年3月14日

上場会社名 株式会社フロンティアインターナショナル 上場取引所 東  
コード番号 7050 URL http://www.frontier-i.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 康宏  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 清水 紀年 TEL 03(5778)3500  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年4月期第3四半期の連結業績（2024年5月1日～2025年1月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第3四半期	13,776	12.3	782	△30.8	773	△32.4	586	20.9
2024年4月期第3四半期	12,266	△2.4	1,129	△25.8	1,143	△24.0	485	△50.5

(注) 包括利益 2025年4月期第3四半期 573百万円 (15.9%) 2024年4月期第3四半期 494百万円 (△50.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第3四半期	131.74	—
2024年4月期第3四半期	109.00	108.98

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期第3四半期	12,723	8,743	67.6
2024年4月期	11,623	8,248	70.6

(参考) 自己資本 2025年4月期第3四半期 8,607百万円 2024年4月期 8,206百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	—	0.00	—	39.00	39.00
2025年4月期	—	0.00	—	—	—
2025年4月期（予想）	—	—	—	94.00	94.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
配当予想の修正については、本日（2025年3月14日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年4月期の連結業績予想（2024年5月1日～2025年4月30日）

（％表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	18,100	6.7	1,254	3.5	1,284	3.8	833	70.7	187.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社（社名）株式会社シネブリッジ、株式会社マックスプロデュース 除外 ー社（社名）ー

（注）詳細は、添付資料P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年4月期3Q	4,619,000株	2024年4月期	4,619,000株
② 期末自己株式数	2025年4月期3Q	169,100株	2024年4月期	169,100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年4月期3Q	4,449,900株	2024年4月期3Q	4,449,900株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(セグメント情報等の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年5月1日~2025年1月31日)における国内の経済は、インバウンド需要の増加等により、緩やかな回復基調となりましたが、海外景気の下振れリスクや国内物価の高騰があり、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような中、当社グループでは、主力のイベント領域を中心に回復基調となり、イベント開催数は前期に比べ8.1%増加し、新規連結子会社の影響もあり売上高は堅調に推移いたしました。案件業種別では、情報・通信業界、食品業界を中心に増収となり、全体でも前期比増収を確保できました。一方、利益面では、前期固有の案件の反動や、前期からの戦略的な人的資本投資を継続したことから減益となりました。

当社の事業は、ソリューションの幅を広げつつ、いかに最新かつ最先端のコンテンツをイベントに実装できるか、それらが統合的にプランニングされているかが事業の競争優位性に直結するため、M&Aによって当社グループの情報感度をさらに高め、事業基盤を一気に拡大させることを重要な戦略としております。そのため、ここ1年間で既存ビジネスにおける周辺領域の会社を3社M&Aするとともに、AIやIP等の最先端分野をはじめ、様々な分野において4件のCVC投資を実行してきました。

M&Aの投資対象としては、エクスペリエンス、ヒューマン、デジタル、マーケティングの4つに区分し管理しており、今後それぞれの領域に対してバランスよく、また強力にM&Aを推進していきます。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高13,776百万円(前年同期比12.3%増)、売上総利益2,578百万円(前年同期比5.4%減)、営業利益782百万円(前年同期比30.8%減)、経常利益773百万円(前年同期比32.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益586百万円(前年同期比20.9%増)となりました。

なお、当社グループはプロモーション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は10,121百万円となり、前連結会計年度末に比べ840百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が150百万円、未成業務支出金が354百万円増加したことによるものであります。固定資産は2,602百万円となり、前連結会計年度末に比べ259百万円増加いたしました。これは主に、無形固定資産が253百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、12,723百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,100百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,285百万円となり、前連結会計年度末に比べ503百万円増加いたしました。これは主に、賞与引当金が96百万円、未払法人税等が279百万円増加したことによるものであります。固定負債は694百万円となり、前連結会計年度末に比べ101百万円増加いたしました。これは主に、役員退職慰労引当金が128百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、3,980百万円となり、前連結会計年度末に比べ605百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8,743百万円となり、前連結会計年度末に比べ495百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益586百万円を計上した一方で、剰余金の配当173百万円により、利益剰余金が412百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は67.6%(前連結会計年度末は70.6%)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年6月14日付決算短信にて公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,434,254	6,585,029
受取手形、売掛金及び契約資産	2,046,654	2,153,577
未成業務支出金	219,210	573,583
その他	590,841	820,015
貸倒引当金	△10,365	△10,656
流動資産合計	9,280,594	10,121,548
固定資産		
有形固定資産	139,555	135,911
無形固定資産		
のれん	324,149	577,501
その他	11,151	10,852
無形固定資産合計	335,301	588,354
投資その他の資産		
長期未収入金	716,363	517,272
その他	1,205,725	1,366,310
貸倒引当金	△54,344	△5,557
投資その他の資産合計	1,867,744	1,878,025
固定資産合計	2,342,600	2,602,292
資産合計	11,623,195	12,723,840
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,826,750	1,870,216
短期借入金	80,000	110,000
1年内返済予定の長期借入金	88,654	69,750
未払法人税等	15,026	294,394
関係会社清算損失引当金	2,501	—
賞与引当金	—	96,075
その他	769,321	845,253
流動負債合計	2,782,254	3,285,690
固定負債		
長期借入金	200,022	158,439
役員退職慰労引当金	170,800	299,099
退職給付に係る負債	144,846	159,865
資産除去債務	77,211	77,373
固定負債合計	592,879	694,778
負債合計	3,375,133	3,980,468
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	51,625	51,625
資本剰余金	378,141	378,141
利益剰余金	8,034,241	8,446,920
自己株式	△284,183	△284,183
株主資本合計	8,179,824	8,592,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,838	14,881
その他の包括利益累計額合計	26,838	14,881
新株予約権	41,398	54,654
非支配株主持分	—	81,332
純資産合計	8,248,061	8,743,372
負債純資産合計	11,623,195	12,723,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
売上高	12,266,617	13,776,511
売上原価	9,541,020	11,198,299
売上総利益	2,725,597	2,578,211
販売費及び一般管理費	1,595,912	1,796,094
営業利益	1,129,684	782,117
営業外収益		
受取利息	321	388
受取配当金	2,622	8,257
有価証券利息	2,950	3,549
為替差益	8,158	—
その他	3,890	15,661
営業外収益合計	17,943	27,857
営業外費用		
支払利息	—	2,856
売上債権売却損	289	211
為替差損	—	11,499
投資事業組合運用損	3,365	3,889
その他	0	17,855
営業外費用合計	3,654	36,311
経常利益	1,143,972	773,662
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,159
段階取得に係る差益	—	54,235
負ののれん発生益	—	46,716
特別利益合計	—	104,110
特別損失		
固定資産除却損	263	486
投資有価証券評価損	19,999	—
関係会社株式評価損	49,999	—
出資金評価損	327,252	—
特別損失合計	397,515	486
税金等調整前四半期純利益	746,457	877,287
法人税等	261,430	292,204
四半期純利益	485,027	585,082
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△1,142
親会社株主に帰属する四半期純利益	485,027	586,225

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
四半期純利益	485,027	585,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,616	△11,956
その他の包括利益合計	9,616	△11,956
四半期包括利益	494,643	573,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	494,643	574,268
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,142

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
減価償却費	16,803千円	18,859千円
のれんの償却額	—	35,069

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、株式会社シネブリッジ及び株式会社マックスプロデュースの株式を取得し、子会社化したため、連結の範囲に含めております。

なお、株式会社シネブリッジ及び株式会社マックスプロデュースは当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、プロモーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。